文部科学省行政事業レビュー公開プロセス インターネットライブ中継にご協力くださる事業者を募集いたします 【募集期間 平成22年5月10日(月)~14日(金)】

文部科学省では、6月上旬頃の2日間、文部科学省が実施するいくつかの事業について、予算の使われ方等を公開の場で、事業仕分けの手法により検証する「行政事業レビュー公開プロセス」(以下、「公開プロセス」という)を実施いたします。現場にお越しになることが出来ない方も含め、より多くの国民の皆様に公開プロセスの内容をお伝えするため、インターネットライブ中継(以下、「ライブ中継」という)を実施いたします。つきましては、ライブ中継にご協力くださる事業者(以下、「協力事業者」という)を募集いたします。

■応募の要件

- 1. 応募および実際のライブ中継の配信は、1事業者によること(複数の事業者共同での参加は不可。複数事業者での音声等のシェア配信禁止)。
- 2. 自社もしくはグループ会社のストリーミングサーバーを保有し、そのサーバーにて 配信すること。
 - 瞬間同時アクセス3万件に耐えられる容量があること。
 - ・ ストリーミングサーバーダウン等の責任は協力事業者で負うこと。
 - ・ インターネット回線は文部科学省で用意するが、必要なプロバイダ契約、回線接続機器、接続確認等のライブ中継に必要な準備は協力事業者の負担と責任で負うこと。
- 3. 公開プロセスの全日程について、ライブ中継を行うこと。
 - ・ 6月上旬頃の計2日間、原則終日の全日程(休憩は除く)を配信すること。具体的 日程は別途連絡。
 - ・ 配信すべき作業は1会場で行う。場所は、中央合同庁舎第7号館3階講堂を予定している。
 - ・ 撮影カメラを2台以上用意し、ユーザが異なる角度から2画面以上閲覧できるページを作成すること。

参考:http://www.mext.go.jp/jyukugi/

- ・ 公開プロセス中は、発言者の表情等が一般視聴者に確認できるように収録を行うこと。
- 4. 過去2年以内に、本件と同様の通信環境や開催時間を有するイベントや会議のライブ中継の実績があること。
- 5. 必要な撮影機材、スタッフ等の手配は協力事業者が行うこと。
- 6. コメント掲載機能およびコメント連動機能がある場合、誹謗・中傷等に対して協力 事業者の責任をもって適切な対応をとること。

- 7. 文部科学省ウェブサイトからのリンク先にて、ライブ中継が直接閲覧可能であるなど、一般視聴者の利便性の確保に努めること。
- 8. 本ライブ中継と同一のウェブページに、公開プロセスと関係ない広告や他のコンテンツへのリンク等を掲載する場合は、それにより公開プロセスの議事内容に疑義を生じることのないよう配慮すること。
- 9. その他の事項にあたっては、文部科学省担当者と連携・相談すること。

■ご協力いただく場合に当省が用意する環境

- ・ 公開プロセス会期中、文部科学省ウェブサイトのトップページから、ライブ中継サイトへのリンクを設定
- 会場にインターネット回線を用意
- ・ 会場でのカメラ位置を事前に設定
- ・ 会場内またはその周辺に配信作業のための机と椅子を設置

■申し込み方法

・ FAX表紙に①事業者様名、②御担当者名、役職、電話番号を記載のうえ、下記提 出資料について、平成22年5月14日(金)18時までに文部科学省大臣官房会 計課用度班までファックスにてお申し込みください。

(FAX 番号: 03-6734-3637)

- お問い合わせについても、ファックスにてお願いします。
- ・ なお、提案内容の詳細等について、文部科学省担当者からご記載いただいた連絡先 にお問い合わせすることがあります。

■提出資料 (様式自由)

- ・ ライブ中継を行う方法に関する具体的提案資料(撮影体制、サイト名称、サイト仕様、配信方式、その他提案事項等)
- ・ 過去2年以内に、本件と同様の通信環境や開催時間を有するイベントや会議のライブ中継を実施した際の訪れたユニークユーザ数
- ・ その他、応募要件を満たすことの証明に関して参考となる資料

■協力事業者の選定

・ 会場のインターネット回線の容量に制限があるため、複数の事業者からの応募があった場合には、提出いただいた資料の内容を審査の上、協力事業者を2~3社選考いたします。

■スケジュール(予定)

・ 5月10日(月)~5月14日(金)申し込み期間

・ 5月18日(火) 協力事業者の決定

・ 協力事業者の決定以降適宜 文部科学省担当者との打ち合わせ、会場下見

・ 公開プロセス前日 会場設営

・ 公開プロセス当日 ライブ中継

・ 公開プロセス最終日終了後 撤去作業

■その他

・「行政事業レビュー」は公開で実施するため、インターネットライブ中継に加え、報 道機関による取材も行われる予定です。